

6. 業績目録

(注：業績はその年の分のみを示す。本号は2009年分のみ)

欧文業績（査読有り原著論文）

1038. Nishimoto Atsushi, Mito Saeko & Shirayama Yoshihisa. Organic carbon and nitrogen source of sunken wood communities on continental shelves around Japan inferred from stable isotope ratios. *Deep Sea Research Part II: Topical Studies in Oceanography*. 2009. 56(19-20), p.1683-1688.
1039. Kobayashi Arei & Kubota Shin. Relation between expanding range of bivalve-inhabiting hydrozoans and water temperature. *Biogeography*. 2009. (11), p.23-31.
1040. Urano Satoru, Yamaguchi Sachi, Yamato Shigeyuki, Takahashi Satoshi & Yusa Yoichi. Evolution of dwarf males and a variety of sexual modes in barnacles: an ESS approach. *Evolutionary Ecology Research*. 2009. 11(5), p.713-729.
1041. Harada Hyakubun, Vila-Costa Maria, Cebrian Just & Kiene Ronald P. Effects of UV radiation and nitrate limitation on the production of biogenic sulfur compounds by marine phytoplankton. *Aquatic Botany*. 2009. 90(1), p.37-42.
1042. Rellinger Alison N., Kiene Ronald P., del Valle Daniela A., Kieber David J. & Slezak Doris, Harada Hyakubun, Bisgrove John & Brinkley, Jordan. Occurrence and turnover of DMSP and DMS in deep waters of the Ross Sea, Antarctica. *Deep Sea Research Part I: Oceanographic Research Papers*. 2009. 56(5), p.686-702.

以下はこれまでに瀬戸を拠点に行われた研究に関する論文

1043. Ohata Mari & Wada Keiji. Are females of *Ilyoplax pusilla* (Brachyura: Dotillidae) attracted to groups having more waving males? *Journal of Ethology*. 2009. 27, 191-194.
1044. Ohata Mari & Wada Keiji. "Is barricade building behavior linked to pair formation in the dotillid crab *Ilyoplax pusilla*? *Crustacean Research*. 2009. 37, 63-66.
1045. Yamada Arisa, Furukawa Fumiko & Wada Keiji. Geographical variations in waving display and barricade-building behaviour, and genetic population structure in the intertidal brachyuran crab *Ilyoplax pusilla* (de Haan, 1835). *Journal of Natural History*. 2009. 43, 17-34.

邦文業績（査読あり原著論文）

600. 座安 佑奈・野村 恵一・鈴木 豪・白山 義久・深見 裕伸. 和歌山産ヒラタオオトゲキクメイシに見られる生時の形態多型は種内変異か種間変異か?. 日本サンゴ礁学会誌 *Journal of the Japanese Coral Reef Society*. 2009. 11, p. 33-37.
601. 久保田 信. 絶食させたベニクラゲモドキ *Oceania armata Kölliker* (ベニクラゲモドキ科) 若返りをおこさず. 南紀生物. 2009. 51(1), p.35-36.
602. 久保田 信. 和歌山県田辺湾に長期間迷入したマッコウクジラ. 漂着物学会誌. 2009. 7, p.47-49.
603. 久保田 信. 四度若返ったベニクラゲ *Turritopsis sp.* (ヒドロ虫綱,花クラゲ目). 日本生物地理学会会報. 2009. 64, p.97-99.
604. 北尾 芳樹, 久保田 信. 和歌山県で発見された巨大カメノテ(甲殻類). 南紀生物. 2009. 51(2), p.153.
605. 新稲 一仁, 久保田 信. ダイダイウミウシ(後鰓亜綱, クロシタナシウミウシ科)の幼若体. 南紀生物. 2009. 51(1), p.51-52.
606. 林 公義, 久保田 信, 田名瀬 英朋, 中坊 徹次. 稀少種ヌメリテンジクダイ *Pseudania gelatinosa* (テンジクダイ科) 未成魚の和歌山県白浜町の海岸への漂着. 南紀生物. 2009. 51(1), p.56-57.
607. 橋本 伊勢雄, 樫山 嘉郎, 久保田 信. 和歌山県西牟婁郡白浜町で採取された生きたスイジガイ *Lambis (Harpago) chiragra* (盤足目, ソデボラ科)の亜成員. 南紀生物. 2009. 51(1), p.58.
608. 田名瀬 英朋, 久保田 信. 和歌山県みなべ町で最近発見された大形のグンバイヒルガオ(ヒルガオ科). 南紀生物. 2009. 51(1), p.22-23.
609. 秋山 仁, 山崎 悠介, 河村 真理子, 久保田 信. わが国で確認された *Koellikerina constricta* (ヒドロ虫綱, 花クラゲ目, エダクラゲ科)のクラゲの大形個体. 日本生物地理学会会報. 2009. 64, p.101-103.
610. 新稲 一仁, 久保田 信. 和歌山県白浜町の海岸へのハチジョウダカラ *Cypraea mauritiana* (腹足綱, タカラガイ科)の出現. 南紀生物. 2009. 51(2), p.144-145.
611. 深見 裕伸・野村 恵一. 和歌山産タカクキクメイシ *Montastraea valenciennesi* (Milne Edwards and Haime, 1848)の隠蔽種の存在. 日本サンゴ礁学会誌 *Journal of the Japanese Coral Reef Society*. 2009. 11 p.25-31.

以下はこれまでに瀬戸を拠点に行われた研究に関する論文

612. 田名瀬 英朋. 和歌山県下から採集したダンゴウオ(カサゴ目, ダンゴウオ科)の記録. 南紀生物. 2008. 50, p.114-115.

著書

Harada Hyakubun & Shirayama Yoshihisa eds. Selected Papers of the NaGISA WestPac Congress 2008. Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University. 2009. p.1-44.

その他（査読無し論文等）

- 久保田 信. 二枚貝共生性カイヤドリヒドラ類（ヒドロ虫綱，軟クラゲ目）に関する最近の生物学的研究. 月刊海洋. 2009. 41(5), p.236-242.
- 久保田 信. アケビコノハ（ヤガ科）複数個体の翅が 2008 年 11-12 月に和歌山県田辺湾の浜辺へ漂着. KINOKUNI. 2009. (75), p.5.
- 久保田 信. ワモンゴキブリ（ゴキブリ目，ゴキブリ上科）が 2009 年 1 月に和歌山県白浜町の“北浜”へ漂着. KINOKUNI. 2009. (75), p.6.
- 久保田 信. 二枚貝の外殻腔をすみかとする不思議なカイヤドリヒドラ類の最近の話題. 阪神貝類談話会機関紙 かいなかま. 2009. 43(1), p.1-8.
- 久保田 信. 和歌山県白浜町で発見された大型のジンガサウニ（ナガウニ科）. くろしお. 2009. (28), p.1-2.
- 久保田 信. 和歌山県白浜町の海岸道路で事故死したアライグマ *Procion lotor*. くろしお. 2009. (28), p.33.
- 久保田 信, 榎山 嘉郎. 南方系ヒトデ類 2 種の和歌山県白浜町の海岸への漂着. 漂着物学会会報（どんぶらこ）. 2009. (31), p.3.
- 久保田 信. 瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類の第 3 番目の種サツマゴキブリ（ゴキブリ目，ゴキブリ上科）. 瀬戸臨海実験所年報. 2009. 22, p.36.
- 久保田 信. 不老不死のベニクラゲの神秘と人類の夢. Milsil. 2009. 3(2), p.15-17, 表紙.
- 久保田 信, 榎谷 英樹. 兵庫県家島諸島で発見されたミドリイガイ. 阪神貝類談話会機関紙 かいなかま. 2009. 43(2), p.24-25.
- 久保田 信, 田中 昭太郎. 京都大学瀬戸臨海実験所構内に 2009 年に出現したクロマダラソテツシジミ（シジミチョウ科）. 瀬戸臨海実験所年報. 2009. 22, p.34-35.
- 久保田 信. 海岸の波打ち際まで続くアミメアリの特異な隊列. KINOKUNI. 2009. (76), p.12-14.
- 久保田 信. 和歌山県西牟婁郡白浜町の鴨居漁港で海面を滑走した淡水アメンボ. KINOKUNI. 2009. (76), p.22.
- 小林 亜玲, 五箇 公一, 久保田 信. 我が国の日本海沿岸へ分布拡大したコノハクラゲ（ヒドロ虫綱，軟クラゲ目）の起源. 月刊海洋. 2009. 41(5), p.243-248.
- 河村 真理子, 久保田 信. 出芽性ヒドロクラゲの生態. 月刊海洋. 2009. 41(5), p.249-254.
- 河村 真理子, 上野 俊士郎, 久保田 信. 2001 年, 2002 年および 2004 年に和歌山県田辺湾

- で採集された有クラゲ類および有櫛動物. 瀬戸臨海実験所年報. 2009. 22, p.37-43.
- 川野 進, 久保田 信, 梅本 信也. 1 花柄に 8 個の果実を結実したアケビ. くろしお. 2009. (28), p.32.
- 北井 勝博, 檜山 嘉郎, 久保田 信, 梅本 信也. ロウバイ *Chimonanthus praecox* (ロウバイ科) の 2 裂性奇形葉について. くろしお. 2009. (28), p.11-12.

新聞連載記事

紀伊民報連載記事「水族館へ行こう！」(2009 年分 72-80 回)

72. 宮崎 勝己「DB 化でもっと光を」1/7 掲載
73. 白山 義久「分子生物学の発展で変わる動物門」1/14 掲載
74. 加藤 哲哉「ペレット、オキアミ、ワカメ」1/22 掲載
75. 白山 義久「食用貝、所変われば厄介者」1/29 掲載
76. 宮崎 勝己「水槽に見る水族館の進化」2/5 掲載
77. 白山 義久「腕の「花」広げる“ろ過食者”」2/19 掲載
78. 白山 義久「地球の真の“支配者”」2/25 掲載
79. 大和茂之「いろいろな足」3/11 掲載
80. 白山 義久「忍び寄る海洋酸性化の危機」3/19 掲載

全体に関する記事

- 4 月 10 日 紀伊民報 楽しんだ？春休み期間中にあった体験活動裏側どうなっている？
京大白浜水族館解説と見学ツアー
- 4 月 14 日 紀伊民報 体験イベント 4 月 25 日 京大白浜水族館
- 9 月 4 日 朝日新聞 海の酸性化、生物に何が 最新装置で近未来を予測
- 10 月 15 日 紀伊民報 魚の餌やり体験など 10 月 31 日 京大白浜水族館
- 12 月 9 日 紀伊民報 オレンジ色のイセエビ 京大白浜水族館で展示
- 1 月 23 日 紀伊民報 ホンコンイシガニ県内で初確認 京大白浜水族館で展示
- 3 月 10 日 京都新聞 ライブカメラ京大が増設
- 3 月 26 日 朝日新聞 霊長研、白浜水族館、桜島観測所・・・京大ライブカメラ増設

教職員に関する記事

- 1 月 21 日 紀伊民報 久保田信：3メートルの巨大ゴカイ 白浜の漁港でオニイソメ
- 1 月 21 日 紀伊民報 久保田信：温暖化で生き物変化 久保田准教授が講演 白浜
- 3 月 14 日 紀伊民報 久保田信：白浜の海岸に漂着 珍種の熱帯魚 ヌメリテンジクダイ
- 3 月 25 日 紀伊民報 久保田信：海の不思議この子誰の子「プラヌラ」

4月2日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「キプリス」
4月9日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「アクチノトロカ」
4月15日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「キフォノーテス」
4月22日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「セルカリア」
4月23日	紀伊民報	久保田信：南方系毒貝に注意 白浜の海岸で発見
4月23日	読売新聞	久保田信：不老不死夢重ね
4月29日	紀伊民報	久保田信：奇妙な形のジンガサウニ白浜で捕獲
5月2日	紀伊民報	久保田信：アカクラゲに注意 素手で触らないで
5月9日	朝日新聞	白山義久・諏訪僚太：二酸化炭素放出増加→海が酸性化→生態系に打撃
5月12日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「オタマジャクシ」
5月22日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「オフィオプルテウス」
5月23日	読売新聞	久保田信：地球の動物 歌い学んで
5月27日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ナメクジウオ」
6月3日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ピリディウム」
6月3日	朝日新聞	迷いクジラ巡り京大がセミナー
6月6日	紀伊民報	久保田信：熱帯魚「イソモンガラ」体色鮮やか 白浜海岸で若魚捕獲
6月9日	紀伊民報	久保田信：白浜の海岸に相次ぎ漂着 ハシボソミズナギドリ
6月10日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ネクトキータ」
6月25日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ノープリウス」
7月2日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「魚卵」
7月8日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ベリジャー」
7月11日	京都新聞	久保田信：海の不思議ベニクラゲ 不老不死の研究講演
7月17日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「アリマ幼生」
7月22日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「滴虫型幼生」
7月23日	紀伊民報	久保田信：サツマゴキブリ 旧日置川町で初確認 生息域紀南全体へ
7月24日	紀伊民報	久保田信：サンゴが壊滅状態 白浜塔島周辺集中豪雨の影響
7月28日	紀伊民報	久保田信：田辺湾でセンニンフグ 外洋性の南方系大型種
7月30日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ミューラー幼生」
8月5日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「シャミセンガイの仲間」
8月12日	紀伊民報	久保田信：若返り3回成功 ベニクラゲ実験で世界初
8月12日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「クシクラゲ」

8月23日	毎日新聞	久保田信：和歌山・サンゴ壊滅 雨水流入で溶ける
8月20日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ペラゴスフェラ」
8月27日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ウミグモ幼生」
9月3日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ゾエア幼生」
9月11日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「アラクナクチス」
9月17日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「イモムシ」
9月30日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「エピカリディア」
10月4日	紀伊民報	久保田信：オウムガイの殻漂着 白浜町沿岸に14年ぶり
10月15日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「トルナリア」
10月15日	紀伊民報	久保田信：和歌山・珍しい南方ウミヘビ白浜 久保田准教授が確認
10月17日	読売新聞	白山義久：生物多様性条約会議 目標
10月23日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「フィロゾーマ」
10月29日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「オーリクラリア」
11月5日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ヒギンズ幼生」
11月8日	紀伊民報	クジラ救助考える 白浜でセミナー
11月10日	紀伊民報	久保田信：珍しいイボクラゲ 白浜沖で捕獲
11月18日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「脊索幼生」
11月26日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「エフィラ幼生」
11月	共同通信社	諏訪僚太：CO ₂ が海を脅かす：精子の運動大幅に低下
12月1日	紀伊民報	諏訪僚太：精子の運動が低下 サンゴやナマコ
12月2日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「トロコフォア型幼生」
12月12日	紀伊民報	久保田信：会報「くろしお」第28号発行 南紀生物同好会
12月16日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「トロコフォア型幼生」
12月23日	紀伊民報	久保田信：海の不思議この子誰の子「ヤムシの幼生」
12月26日	長崎新聞	久保田信：世界初「キヨヒメクラゲ」公開
12月28日	読売新聞	久保田信：世界初展示珍種クラゲ 海きらら